

# IND'S CINENEWS

—自主製作映画情報—

## 1 弥生上映会

○今年卒業生が中心となって行われる、東北学院大学映画部の、弥生上映会。今年は4人の監督が新作映画を製作中です。当日は、新旧織り交ぜて8作品が上映される予定だそうです。

○「学校」というのは、映画制作にとっては確かに何かと便利で、居心地の良い場所。とりあえずそこに拠点を設けなくてはならない時、自分にとって「映画」はどうなってしまうのだろうか？もう、物語を作ることは出来ないのだろうか？…とか、学生時代に映画撮ったことのある人なら、だれしも結構真剣に悩んだのではないのでしょうか。

## 2 ゆうぱり国際冒険・ファンタスティック映画祭

○今年も2月16日～20日の5日間、北海道夕張市でファンタスティック映画祭が行われますが、この映画祭の中に、一般公募の自主映画のコンテストがあることは、あんまり知られてないみたいです。

（右の写真は水戸ひびき監督の「闇の休日」より。）

今年は115本の応募の中から、右の32本が一時審査を通過した模様です。

有名自主映画監督が勢揃いですが、詳しいお問い合わせは

まで。

- |            |       |             |       |
|------------|-------|-------------|-------|
| 緑に輝いた森     | 藤沢尚人  | 運める人々       | 米沢光雄  |
| REST ROOM  | 村上京義  | ひとみちん絶対命    | 藤見桂子  |
| 冒険         | 横田征司  | N+ MACO     | 藤田新助  |
| モロヘイヤ・パニック | 藤山 博  | 巨大を逃れた幻の巨人  | 中尾英博  |
| おしりの異変     | 倉持裕之  | Flash Light | 高橋信司  |
| 新編之助       | 小山寛史  | SPACE GO    | なにお天満 |
| 恋劇         | 菅原敏一  | いつか見た日      | 杉本静一  |
| 清十年愛たん     | 山口隆大  | リング・マニア     | 保井 健  |
| 情色通明人間と戦っ  | 川原康幸  | Dave        | 山内大輔  |
| ひとさしゆび     | 石田 章  | 血の赤に染めろ!    | 川口良太  |
| 静しみなく愛は解   | 松原智子  | 真空探偵        |       |
| 母          | 菅田 聖  |             |       |
| 大星の人生      | 佐藤智智  |             |       |
| 闇の休日       | 水戸ひびき |             |       |
| ヒトナガイ      | 安田真幸  |             |       |
| 太陽の城       | 草野敏夫  |             |       |
| おろかもへの脱走   | 本村幸雄  |             |       |
| 子嵐如型       | 田代博美  |             |       |
| 歩道にあげれ     | 岡宮&大塚 |             |       |
| 大町島        | 山本浩司  |             |       |

◎いつもご愛読いただきありがとうございます！

大イベントの『インディペンデント・シネマデイズ』も、大盛況で終わったようであり、知らなかった自主映画を見て「自分も作ってみたい!」と思ったあなたも、「まだ知らないけど、ちょっと見てみたい」というあなたも、「もう作ってらい!」というあなたも、本当のイベントはこれからです!

今月も情報を集めてみましたので、もしよろしければ、どうぞ!

### INDIE'S= MOVIE

## 3 ひろしま映像展'96

—おもしろければ、それでよい!



◎時 3月20日(祝)  
10:30~13:30  
場所 震災復興記念館4F  
研修室(入場無料)  
問い合わせ/高橋

### ジャンル・プロアマ無制限の白熱映像バトル

## ひろしま映像展'96

—おもしろければ、それでよい!

◎何を重ねて3回目の「ひろしま映像展」、このコンテストの特色といえば、やはり観客の投票で評価が決まるということでしょうか。「PPF」を初めとする様々なコンテストが、審査員の評価によって下されるのと対照的に、(予審査があるとはいうものの、)会場で観客が楽しめた作品に、観客自身が賞を授けるとするのは、最もストレートで、同時にシビアな評価法だとも思います。

その道の基本姿勢が、「おもしろければ、それでよい!」というキャッチコピーに現れているのではないのでしょうか。

広島は遠いけど、ぜひ行ってみたいですね。

パンフレットとコメントです。

問い合わせ  
ひろしま映像展実行委員会  
TEL/

募集要項

■応募条件  
自主製作による8・16ミリ映画及びビデオ (ビデオはVHSで応募して下さい)。  
上映時間、ジャンル、プロアマは問わないが、広い意味でのエンターテイメント(一般観客に見せることを意識したもの)であること。

■応募宛先  
〒724 広島県東広島市西条町  
安芸西条郵便局留め  
ひろしま映像展実行委員会

■締め切り  
1996年3月1日(必着)

■選考方法  
公開の予審査を行い、選ばれた約6時間分の作品を本選で朝までオールナイト上映し、観客投票により各賞を決定する。

## 4 DE・PALMA上映会

○精力的に活動を展開している、東北大学の自主映画制作団体「DE・PALMA」の次の上映会は、7月13日(日)、141ビル5階スタジオホールで行われることが決定したそうです。タイトルは今所未定、現在各監督が新作を製作中とのことです。

詳細が分かり次第この新聞でお知らせ致します。

問い合わせ/ (長谷川)

『My Film』より。



『シネマデイズ』で上映された『人の影は君のもの』より。

昨年、一昨年と大好評を博し、全国的な反響を得た「ひろしま映像展」が、この4月にいよいよ第三回の開催を迎えます。

音楽が好きだったからバンドをはじめると同じように、映画が好きだったから映画を撮りはじめた、そんな映画製作へのこだわりがもっとも普通にあつていいんじゃないか、そんな思いから「ひろしま映像展」は生まれました。

自主製作映画がクローズアップされるようになってはや10数年。プロへの道を歩んだ監督も少なくありません。しかしそういうプロになっていく監督以上に魅力ある作品を作り続けている監督が全国にはたくさんいます。作品もたくさんあります。

そんな全国から応募された映像作品を1本でも多く上映するため、夜を徹して行われるフィルムマラソン。そして、その作品全てを見た観客が投票の一環で、グランプリ、企画賞、撮影賞、演技賞が決定します。ジャンルやメディア、プロアマ、上映時間等を問わず、観客の評価によってのみ各賞を決定するのがひろしま映像展なのです。

ひろしま映像展は「観客が見ておもしろい作品を上映する。」ことが、映像製作の楽しさをより多くの人に伝え、若い才能の発掘につながるものと考えています。そしてそれが最終的には日本の映画や映像製作を活性化するのではないのでしょうか。さあ、あなたも新しい日本映画の黎明に参加してください。

# 電撃通信

## ◎大日本帝国映像上映会

○オリジナルSFXビデオ映画『SFX巨人伝ライン』シリーズの新作2本、その他を上映。入場料/¥300  
時/3月3日 辰/TAG  
問い合わせ (千田)

## ◎横浜娯楽座 上映会

○横浜の区民祭りである「南だべ祭」の一環として行われる自主映画の上映会。その名のとおり娯楽作品を集めた上映会です。

3月18日(土) 11:30開演 12:00開演  
主催 南だべ祭実行委員会  
横浜市立中央市民プラザ4F  
後援 横浜商工会議所 横浜教育委員会 横浜青年会議所

## ◎仙台シネマ倶楽部

【3月例会】  
3月17日(日)  
『翔んだカップル』  
- 時間: 検討中  
- 場所: 震災復興記念館4F研修室  
会員&スタッフ大募集!!

シネマ倶楽部では現在会員を大募集しています。シネマ倶楽部で仙台で観られない作品や昔の名作を上映することを目的として11年前に発足した自主上映団体です。1カ月に1本ジャンルを問わずいろいろな作品を上映しております。会員制ですが映画好きの方ならどなたでも入会できますので、直接会場までご来場ください。不明な点は下記まで問い合わせください。

なおシネマ倶楽部では運営に協力して下さるスタッフの方も大募集しています。上映作品を決めたり、上映会を開催したり、この機関誌を作ったりすることがおもな内容です。現在10名程度活動していますが人が足りません。週に一度ミーティングを行っていますので、運営に興味のある方はぜひご連絡ください。

【連絡先】  
清水方  
仙台シネマ倶楽部

「映画の楽しみ」を「映画の楽しみ」にする。